

令和6年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称:水沢うどん

評価された点

- ・うどんをすする音が食欲をかきたてる。費用の分だけ完成度は一番。やや現実離れした展開か。
 - ・タクシードライバーと旅人のドラマ仕立ての演出が斬新で見応えがありました。旅人がタクシードライバーを観光案内に誘ってしまう想定外の設定ではあるものの、それも面白さの一つ。「こんな旅はいかがですか」と、ビギナーにもわかりやすく押しつけがましくなく紹介している点がうまいと思います。二人のやりとりも印象的ですし、音楽も耳に残るので、プロモーション効果は高いと思います。
 - ・ロードムービー的な作りで伊香保や水沢うどんの魅力などを紹介していて、短編映画を見るような感じで楽しめました。
- カット割りやカメラワークがしっかりしているし、渋川さん、こだまさんの出演でしっかりお芝居になっていて、9分間あっても中だるみしませんでした。
- また、台詞の中で渋川が東京から近いことを印象づけようとしたり、移動の所要時間を入れたり細かい工夫をしているなど感じました。
- ・制作費をかけて外部委託した作品で、プロの俳優を起用し番組制作会社が手掛けた作品なので、基本的には批評の余地がない。
 - ・俳優陣の自然で味のある演技はさすがの一言。こだまの歌と渋川の演技が光る短編映画のような作品に仕上がっており、渋川市、伊香保、水沢の「近さ」と「魅力」を余すところなく伝えようというこの企画を成功に導いている。
 - ・全体について：ドラマ仕立てで、渋川の魅力を端的に表現している。
 - ・内容について：うどんをゆでる音や天ぷらをあげる音などが効果的。BGMも雰囲気にあっている。
 - ・渋川市や伊香保町の魅力がよく伝わる作品。観光客がタクシードライバーを誘って旅するというのは新鮮なテイストで面白い。
 - ・ストーリーや絵コンテがしっかりと作り込まれていた。

令和6年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称:第1回スローシティウェビナー 第3部前橋市&気仙沼市 事前報告 前橋移住コンシェルジュ鈴木正知さん

評価された点

- ・関心の高い分野で興味を持つ人が多いと思う
 - ・前橋市を移住先の候補に考えている人にとって非常に参考になる情報が随所に盛り込まれています。前橋ってどんな街なのか、どのような魅力があるのか、どんな人に来てもらいたいのか。鈴木さんの飾らない、それでいてエッジのきいたトークが面白く、前橋の自然美ともうまくマッチングしていて効果的な仕上がりです。「地域を大切に思う人たちに来てほしい」という強い思いがしっかりとメッセージとして伝わってきます。秀逸です。
 - ・スローシティについての会議での事例報告という明確な目的があるので、筋がはっきりしている動画になっていると思います。
- 派手な動きはないものの、カメラの動きやフォーカスなどで雰囲気のある映像になって、鈴木さんの人柄や考えが伝わる動画になっていると思います。
- ・鳥の囀りなど自然環境音、コーヒーを煎れる過程の様々な所作の音、全ての音が生きている。
- 出演者の語りも非常にクリアで、環境音とのバランスも良く、音響効果は秀逸。カラスの絶叫さえもまた一興。映像も総じて綺麗。
- ・全体について：鳥の鳴き声、風の音など、自然の音の使い方がうまい。
 - ・内容について：移住コンシェルジュの方のお話と映像雰囲気がマッチしており、スローシティの意味がよくわかる内容だった。

令和6年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称: 幻想的 里山の花畑で500匹の蛍が舞う

評価された点

- ・新たな観光資源である崇台山の大桐を紹介している
 - ・里山の環境保全・保護に対する思い、当該施設の目指すコンセプトがよく伝わる動画です。桜田代表のストレートなメッセージがわかりやすく、非常に共感・共鳴をおぼえ、応援したい気持ちが高まってきます。
 - ・詩的な映像に引き込まれました。
- もともと自然の美しさがあってこそその美しい映像ではありますが、叙情的に撮影されていてその魅力を上手に表現していると思います。
- また桜田さんもいい味を出していて、アングルを変えた撮影などの工夫が行われていることがそれを一段と引き立てていると感じました。
- ・里山の大切さを伝える全体としてのメッセージ性は十二分に表現されている。
- コメントと映像が同期していて、場面転換も良好。
- カット割りやイメージーションライン等も違和感なく、基本的映像表現に長けている。
- ドローンの空撮や飛び交うホタルの早回し映像など、効果的な映像表現もある。
- ・映像がきれいで、ゆったりとした時間の流れが感じられた。
 - ・安中をぐるっと回る「安グル」というキャッチコピーがよい